

危機管理産業展(RISCON TOKYO 2015)への出展参加について

緊急地震速報利用者協議会は、(一財)気象業務支援センターとの共同事業として、平成27(2015)年10月14日～16日に東京ビックサイトにおいて、今年で11回目の開催となる危機管理産業展2015に、4会員(アイティ・ニュース(株)様、(株)ANET様、(株)Jコーポレーション様、KITシステムズ(株)様)のご協力をいただいて防災・減災対策部門に出展しました。

危機管理産業展は、3.11東北地方太平洋沖地震以降の地震災害への危機管理対応、列島の火山活動、激甚な気象災害の多発等から来場者数も毎年増える傾向にあって、全国各地で開催される同種の展示会の先駆けとなっています。

今回の展示ブースは、例年の場所とは違ったアトリウムといわれる場所で、会場正面の入場者受付を済ませて入場する最初の展示スペースの一角に、気象庁ブースに隣接して設置しました。



この展示会には、一般の方(町会・自治会等)は勿論のこと、官公庁、各種業態の危機管理担当者が多く来場されます。緊急地震速報の利用では、具体的な端末機器の導入方策や気象庁から発表される各種情報の取得方法など、商談の場としての展示会と実演映像や体験型の展示としてのアピールなど、協議会として更に展示への分かりやすさへの充実が求められていると感じました。

この展示会は危機管理マーケットへの圧倒的な規模と知名度があり、今後とも会員のご理解、ご協力の下、緊急地震速報により地震災害の軽減に混乱なく有効な活用を図る取り組みを一層推進していきたいと考えております。

出展会員の皆様には事前準備をはじめ3日間に亘ったご協力に深く感謝申し上げます。

